学生主催による被災地視察研修(石巻・女川方面)を実施した。学生・教職員合わせて22名が参加、石巻の門脇小学校、大川小学校、女川の江ノ島会館、地域医療センターを訪れ、当時の被災状況および現在の復興状況を視察した。





### ② 第14回復興カフェ in Miyakyo (12月19日・金)

復興教育学創設室の「仮設テントの炊き出し研修」と合わせ、【拡大・復興カフェ in Miyakyo】を開催した。昼休みに中庭にて、災害時のホットサンドづくりを体験した後、附属図書館展示ホールにて福島県いわき市の復興状況等について、当センター瀬尾和大副センター長と小田特任准教授が報告した。次回の復興カフェは、11月のJICA教員研修で訪れた【岩手県陸前高田市】の震災復興状況について報告する。







**22万** '15.3.6

### ③ 第2回ボランティア協力員総会(1月21日・水)

平成26年度第2回ボランティア協力員総会が210番教室にて開催された。中井センター長の挨拶の後、各地域におけるボランティア活動について、代表の学生から活動報告、感想等、発表がなされた。新ボランティア協力員代表(新2年生・佐々木奏太さん)から来年度に向けての抱負が述べられた。





### ④ 第15回復興カフェ in Miyakyo (1月22日・木)

JICA教員研修の一環で、陸前高田市視察研修を実施したので、随行した藤原忠和主任と、陸前高田の被災地調査を実施した、瀬尾副センター長から復興状況について報告頂いた。瀬尾副センター長から、ベルトコンベアによる土地の嵩上げが各地で行われていることを中心とした復興状況の報告と、藤原主任からは、牡蠣の養殖で生計を立てる人たちが、震災後、一度消えたマーケットを再び復活させることがいかに難しいかということや、陸前高田市立米崎小学校の仮設住宅にて国際交流が実施されたことの紹介があった。







第3回国連防災世界会議にて、本学は総合フォーラムの一つとして、文部科学省・日本ユネスコ国内委員会と共催し、ESDと人づくり、防災教育をテーマにシンポジウムを開催するにあたり、プレイベント・【東北発!防災教育の新たな展開を考えるワークショップ】~ポストDESDとポストHFAを考える~を開催した。

- ①防災教育日本連絡会事務局長 (東北大学災害科学国際研究所)
- ・桜井愛子准教授 「HFA2と防災教育に関する"仙台宣言"発出にむけて」
- ②本センター・小田隆史特任准教授 「宮教大・ESD推進の軌跡、 震災後の歩み〜国連防災世界会議総合フォーラムに向けて」
- ③本学学校教育講座・田端健人教授 「ESDと震災復興を通じた教育系大学の連携を目指して」



の発表後に、参加者による「国連防災世界会議へ向けた教育現場からの期待」と題したワークショップを行った。参加者には現職の教員も多く、短時間ではあったが実りあるワークショップとなった。今回も本センター所有のTV会議システムを活用して、気仙沼市連携センターやセンター内事務室へ映像を配信した。





# TV会議システム



## 本センター所有のTV会議システムについて

RICOH Unified Communication System Apps のアカウントを5つ契約しました。
TV会議をご検討の方は、教育復興支援センターまで連絡ください。(附属学校園とも接続可能です。)

### ⑥ 第16回復興カフェ in Miyakyo (2月4日・水)

仙台市立中野小学校や仙台市立荒浜小学校にて、ボランティア活動を継続して実践してきた学生に、本学の後輩たちに望むボランティア活動などについて報告していただいた。平成27年度をもって閉校する中野小学校ボランティア学生からは、継続することで見えてくるものがあり、閉校を意識活動が求められていて、最後の1年間をどのように活動するかなどの話があった。荒浜小学校ボランティア学生からは、荒浜小学校の教員へのアンケートに基づき、ボランティア学生にやって欲しいこと(子どもたちをきちんとしかって欲しい)、やって欲しくないこと(子どもたちに名前ではなく〇〇先生と呼ばれて欲しい)などの話があった。





### ⑦ 第3回国連防災世界会議のご案内(2015年3月14日・土~18日・水)

文部科学省及び日本ユネスコ国内委員会とともに、総合フォーラム「持続可能な開発のための教育を通じた防災・減災の展開~より良い子どもたちの未来に向けて~」を3月16日(月)東北大学萩ホールにて開催します。持続可能な開発のための教育の10年 Decade of Education for Sustainable Development (DESD) 及び兵庫行動枠組み(HFA)が最終年を迎える今、これまでの取組を振り返り、持続可能な開発のための教育の防災教育への貢献についてを被災地での実践事例とともに議論します。また、会議の期間中に本学として様々な取り組みを実施します。



